

## 道徳教育の充実に向けて

校長 嶋見 靖之



今年も残すところ1か月となりました。玄関には大きなクリスマスツリーが飾られています。2学期のまとめ、そして平成29年を締めくくる12月です。

さて、ご存じのように来年度から新学習指導要領への移行が始まります。その中で、これまでの「道徳の時間」が「特別の教科 道徳（道徳科）」となり、移行期間を経ずに来年度から始まります。高千小学校では、これを道徳教育の充実の機会ととらえ、次年度からの道徳教育全体計画や指導計画を作成しています。

10月に保護者と地域代表（民生委員、青少協役員）の皆様へ、道徳教育についてのアンケートを実施しました。お忙しい中、ご協力いただきありがとうございました。

アンケート集計の数値で見ると、保護者・地域の皆様共に育ててほしいと願っていることは「生命の尊さ」でした。「命の尊さ、大切さを理解させることは、人間が生きる上での基本である。自分の命は勿論、他人の命、動植物の命をも大切にする心を育てることが重要である。」「テレビ、新聞で毎日のように痛ましい事件が発生しているが、子どもの頃にしっかりと生命の尊さについて指導できれば事件も減ると思う。」といったご意見もいただきました。

アンケート一枚一枚から、子どもに対する思いが伝わってきました。「保護者、地域と連携し、参加型で取り組んで欲しい」というご意見もいただきました。道徳科をはじめ全教育活動における指導の充実、保育園・中学校との連携、家庭・地域との連携を通して、道徳教育の一層の充実に向けて参ります。ご理解ご協力をお願いいたします。